

## 第2回「アジアこども会議」

日 時 1995年8月23日(水)  
午後2時50分から4時35分  
場 所 如水会館(千代田区丸の内3-2-1)  
松風の間にて

### 1 テーマ

「ゴミ問題について」

4カ国のこどもたちが集い、会議にて採択された項目を「こどもアジェンダ21」  
として宣言する。

### 2 来賓

高円宮殿下・妃殿下

大島 理森 (国務大臣・環境庁長官)

近藤 次郎 (地球こどもクラブ会長)

愛知 和男 (地球こどもクラブ副会長/元環境庁長官)

### 3 出席者

こども

受賞者(16名)

作文コンクール授賞式出席者

おとな

(8名)

司 占 樹 (中国北京市教育局職員)

ユー・ジュエール(ソウル開院中学校教頭)

審査員

森 ミドリ (音楽家)

山谷えり子 (サンケイリビング新聞編集長)

長沢 光男 (環境ジャーナリスト)

浅井 清恵 (千葉県中学校教諭)

進行役

江森 陽弘 (審査委員長/ジャーナリスト)

”

杉山 多恵 (審査員/環境庁・環境学習専門官)

## 進 行

開会のあいさつは愛知和男地球子どもクラブ副会長。愛知和男副会長は第1回作文コンクール当時の環境庁長官でした。進行役の江森陽弘氏より会議を初めるあたりの挨拶の後、アドバイザーとして参加頂いた有識者の方々の紹介があり議事進行となりました。

会議は出席者20名と多人数なので指名式にし、地域性を生かして発言してもらいました。今回のテーマは「ゴミ問題について」です。この問題は、日本同様アジア諸国でも深刻な環境問題の一つでありするという、海外より参加の子供たちの発言がありました。

以下、出席者の主な意見です。

### [国内編]

- 学校や家庭で、リサイクルについてよく話し合いをします。
- 犬の散歩のときに空き缶を拾います。
- 家族で山に行ったとき、ゴミを持ち帰ります。
- 紙パックやトレイは、スーパーに持っていきます。
- 使った油は、石鹼作りに役立ってます。
- 今日、東京に来て電信柱ごとにゴミ置き場があるのを見て『都会だな〜』と思いました。  
(宮崎県より参加)
- 道徳の時間にみんなで海岸のゴミを拾いに行ったことがあります。  
(千葉県より参加)
- 日本は、街にゴミ箱が少ないと思います。  
(スペイン・マドリッド日本人学校より参加)

### [海外編]

- 中国では毎朝、通りのゴミを集めてくれます。
- 私の家では、一人ひとりがゴミをビニール袋に入れて出します。
- 日本もインドネシアもゴミが落ちていなくて、きれいな街だと思います。
- 韓国のソウルでは、数年前からゴミを出すのが有料になったので、ゴミがかなり減ったと思います。
- アパート・学校ごとに、ゴミの分別化に努めています。
- 学生が中心となって、キャンペーンなどを行っています。

などの発言がありました。

全員の発言が終了したところで、進行役が子供たちからでた意見を採択し、宣言書を作成しました。これは、今回の会議で子供たちに今の気持ちをいつまでも持っていらおう、また今後の生活にこの決意を実行しようという気持ちを「こどもアジェンダ21」として宣言するものです。出席した子供たち全員がサインをし、4カ国の代表4名が大島理森環境庁長官に宣言書を手渡しました。

コピーを貼る